

イノベーション部門

福岡のまちと共生する屋台の環境整備

福岡市

■天神の歩行空間に軒を連ねる屋台

● 交流の場の創出



● 貴重な観光資源

年間利用者数：約115万人
経済効果：約53億円

○ 汚水柵の設置 !! → 衛生面の改善

屋台のシンクから直接、ホースを挿入し
下水道本管へ排水できる汚水柵を設置



移動式屋台に適応!!
ホースの脱着機能を装備

● 市民にも観光客にも愛される
魅力ある屋台へ

PRポイント!

福岡市の屋台は、まちの魅力を高める「都市の装置」である一方で、排水や悪臭など衛生面における問題があったことから、**屋台が地域に理解され、福岡のまちと共生する持続可能な存在となるため**、屋台の再配置に併せ、**屋台用の汚水柵設置**など環境整備を行いました。

屋台営業者からは、従前はバケツ等に入れて汚水を持ち帰っていたものが、汚水柵の設置後は直接下水道本管へ排水が可能となり非常に便利になったとの声を聞きます。また、衛生面の問題を改善したことで、地域の皆様にも喜んでいただけているのではないかと考えています。

観光振興に下水道が寄与するという新たな可能性を拓いた取組みであり、今後も屋台の効用を高め、安全で快適な公共空間及び良好な公衆衛生の確保の為に汚水柵の適切な維持管理に努めてまいります。

Key Person



道路下水道局 路政課
坂田 晃彦

屋台が福岡のまちと共生するために、屋台排水を適正に処理し、地域の理解を得ることが極めて重要でした。

汚水柵を設置した約40軒の屋台を一軒ずつまわり、屋台営業者に汚水柵を設置した目的、使い方、適正な使用の重要性を丁寧に説明し、納得して使用していただけるように努めました。今では、屋台営業者の方にも快く使用していただき、衛生面に関する市民の苦情も少なくなりました。